

# 千葉ブロック協議会 支援物資輸送及び被災地視察レポート

(宮城県南三陸町、福島県いわき市)



## 概要

### 1. 参加者

公益社団法人日本青年会議所	関東地区	千葉ブロック協議会
会長	山谷 恒樹	
監査担当役員	村中 鉄也	
運営専務	渡邊 圭介	
財政局長	西宮 彰宏	
財政局次長	岩瀬 朋彦	
協働運動推進委員会		
運営幹事	檜垣 慶太	
	若林 貴広	
事務局	芥川 誠	
	宮野 哲郎	

### 2. 同行者

社団法人千葉青年会議所  
飯田 浩次郎  
大森 裕介

### 3. 実行日

平成23年 4月16日(土) ～平成23年 4月17日(日)

### 4. 物資輸送先

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田56番地  
南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ

### 5. 目的

千葉ブロック協議会で保管している支援物資の輸送  
副題として、千葉ブロック協議会としての被災地支援に関する現地調査

## 6. 結果



南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ

4月16日(土)、23時に習志野を出発し、途中休憩を取りながら翌17日(日)6時30分頃、今回の主目的である宮城県の南三陸町に到着しました。(写真1・2)



(写真1：ベイサイドアリーナ)



(写真2：ベイサイドアリーナ入口)

高速を降りてから、山側から現地に向かっていたため、地震の影響はほとんど見て取ることはできませんでした。しかし、山を下り、海に近づいたとたんに景色が一変しました。下の写真(写真3～6)の通り、あらゆるものが津波に破壊し尽され、瓦礫だけが残っているという想像を絶する光景が一面に広がっていました。ビルの屋上に流された車が乗っており(写真6)、津波の大きさ、勢いの凄まじさを物語っています。



(写真3：南三陸町の被災状況)



(写真4：南三陸町の被災状況)



(写真5：南三陸町の被災状況)



(写真6：南三陸町の被災状況)

午前9時より4tトラック2台で運搬してきた支援物資の搬入作業を行いました(写真7～12)。現地にいらっしゃった自衛隊の方々も協力してくださり、スムーズな搬入が行えました。さまざまな方面から支援物資が送られてきていましたが、被害の大きさ、避難している方々の数、復興までの時間等を考えると、まだまだ支援が必要なのではないかと思われました。



(写真7：運搬してきた支援物資)



(写真8：支援物資搬入)



(写真9：支援物資搬入)



(写真10：支援物資保管所)



(写真11：搬入し終わった支援物資)



(写真12：搬入し終わった支援物資)

その後、有限会社ささや(長谷川博史先輩：千葉JCOB)から購入したどら焼き1,200個を災害ボランティアの協力のもと配布しました(写真13～16)。1か月以上に亘る避難所生活を強いられている被災者の方々には、久しぶりに手にする甘いお菓子を大変喜んでいただけ、みなさんの笑顔に救われる思いでした。



(写真13：どら焼きの配布)



(写真14：どら焼きの配布)



(写真15：どら焼きの配布)



(写真16：どら焼きの配布)

午後には、南三陸町を後にし、千葉ブロック協議会として今後支援していくことになる福島県の視察に向かいました。



写真17～20は、福島県いわき市の塩屋崎灯台付近です。  
こちらも同様に被害が大きく、防波堤も津波により破損してしまっていました。  
復興に向け、まず小さなことからでも、できることからやっていかなければならぬと考えさせられた視察でした。



(写真17：福島視察)



(写真18：福島視察)



(写真19：福島視察)



(写真20：福島視察)

以上